



## とうきょう すくわくプログラム

### 2024年度活動報告書

稲城雲母保育園



#### テーマ【自然物との関わり】

##### 設定した理由・背景

戸外活動時に落ち葉や木の実等の自然物を見つけ、それを使って見立て遊び等をする子どもたちの様子からその場で完結する遊びだけでなく、自然物の観察や持ち帰った自然物からの作品作りを通して、自然物への探求をしようと考えた。

##### 用意した環境設定

- ・公園で集めた自然物
- ・タブレット端末
- ・無地模造紙
- ・カラーペン
- ・コハクリボン

#### 活動のあゆみ

【開始】1月14日 主活動の時間に公園内の自然物について話をする。

1月30日：主活動の時間に公園で自然物の採取を行う。

2月13日：主活動の時間に前回とは違う公園で、様々な植物に触ってみたり、違いを見比べてみる。

2月20日：主活動の時間に、採取した自然物を用意、作品作りを行う。

#### ✧探究活動の実績✧

戸外活動時に落ち葉や木の実等の自然物を見つけ、それを使って見立て遊び等をする子どもたちの様子からその場で完結する遊びだけでなく、自然物の観察や持ち帰った自然物からの作品作りを通して、自然物への探求をしようと考え、探究活動を始めた。

子どもたちが見つけてきた自然物に対し、「これはなにかな?」「同じ葉っぱでも形や色が違うね」等の問いかけをし、落ち葉や木の実を見比べられるよう、同じ種類の自然物を目の前に見せ、子どもたち自身が見比べられるようにした。

目の前の自然物に触ってみたり、握りしめたりする姿が見られたので、目の前で落ち葉を手でもみ、砕いてみるなどすると、真似をし子どもたち自身でも自然物の変化を感じていた。

自然物の採取では、大きさや形に興味を示す姿も見られた。目の前の落ち葉を手にする子どもや同じ葉っぱでも自分の好みものを選ぶ子どももいた。

採取した自然物を使った作品作りでは、落ち葉を砕いて形の変化を感じながら、思い思いに模造紙にちりばめ、形作っていった。



0歳児、1歳児が自然物を採取する様子



1歳児が他児が見つけた自然物を観察する様子



1歳児が作品作りをする様子

#### まとめ

今回の探究活動では、自ら触れて感じることを大切に活動を行ったことで、自然物への興味を広げていけたように感じた。今回は冬の自然物ということだったが、来年度に向け、春夏秋冬の日本の四季の移り変わりを自然物を通して感じられる探究活動につなげていきたい。



## とうきょう すくわくプログラム

### 2024年度活動報告書

稲城雲母保育園



#### テーマ【きのこ】

##### 設定した理由・背景

きのこが好きな子どもから他の子どもへと興味が広がっていき、散歩先でも一緒に野生のきのこを観察する姿から、きのこの種類や生態など、より深く知っていける機会にしたいと思い、このテーマを選びました。

##### 用意した環境設定

- ・野生のきのこが観察できる公園の設定。
- ・タブレット端末
- ・拡大鏡
- ・図鑑
- ・市販きのこ

#### 活動のあゆみ

【開始】1月22日 主活動の時間にきのこの種類などについて、図鑑を用いて話をする。

1月29日：主活動の時間に公園で野生のきのこを観察を行う。

2月13日：主活動の時間に市販のきのこの観察を行う。

#### ✧探究活動の実績✧

きのこが好きな子どもから他の子どもへと興味が広がっていき、散歩先でも一緒に野生のきのこを観察する姿から、きのこの種類や生態など、より深く知っていける機会にしたいと思い、探究活動を始めた。

まず初めに、「みんなはなんのきのこが好き？」という問いかけたところ、「しめじ」「えりんぎ」という声があがった。そこで、「みんなが給食で食べているきのこ公園のきのこは何が違うのかな？」という新たな問いかけを行った。きのこの歌で出てくる“毒きのこ”というワードが子どもたちから出てきたので、スーパーに売っている食用のきのこ野生のきのこを調べてみようと言かけを行った。公園の切り株に生えている野生のきのこの観察では、「これは食べれるのかな」「なんていうきのこや調べて」など、近くで見たり、なんとというきのこか知りたいという姿が見られた。保育園に帰り、図鑑等を用い、調べてみたところ、食用には向かないきのこではないかという事が分かった。

スーパーで売られている食用のきのこの観察では、用意したきのこを一つひとつ紹介し、実際に触れたり、匂いを嗅いでみたりした。子どもたちに馴染みのあるしめじ、エリンギ、えのきなどは、名前を言ったり、割いてみたりと意欲的に観察していた。木耳は乾燥しているものを用意したので、水に戻すところから行った。乾燥の木耳の匂いを嗅いだ子どもからは「くさい！」といった感想が反応があり、それぞれのきのこの匂いも感じていた。

その後、一人ひとりに拡大器を用意し、観察してみると、拡大したきのこを見比べる姿が見られた。

初めは歌やイラストの中でのきのこに興味を持っていた子どもたちだったが、様々な種類の実物のきのこに触れたことで、食用には向かないものやそれぞれの違いについて探究する姿が見られた。

毒きのこかな？



2歳児が野生のきのこを観察をする様子

ネバネバする！



2歳児が市販のきのこを観察をする様子

よく見えるね！



2歳児が拡大鏡で観察する様子

#### まとめ

きのこという歌やイラストでの興味から実物に触れることで、今までのきのこのイメージとは違ったきのこについて興味が深まったように感じた。目で見て触って違いを感じれる食用きのこの見比べの活動は子どもたちの興味関心が非常に高く、集中する姿が印象的だった。来年度に向け、気づきや問いが変化してくるので、継続して行っていき、細部の違いにも目を向けていきたい。